

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-3-1	事務事業名 5歳児歯科健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
----------------	----------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	実施方法…実施年度内5歳になる幼児に対して年1回、市から郵送された受診票を持って指定医療機関(西東京市歯科医師会に委託)に受診する。 実施内容…問診、口腔内診査、歯科相談、歯科保健指導、保護者が希望の場合は歯科医師の指示に基づきフッ化物塗布する。 補助金…医療保健政策区市町村包括補助事業補助金 (予算事業名：5歳児歯科健康診査事業費)	
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 合併前 <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()	

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		6,714	6,795	7,260	7,798
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	3,483
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		6,714	6,795	7,260	4,315
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	808	817	770	823
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	7,522	7,612	8,030	8,621
単位当たりコスト(E)=(D)/(対象者数)	千円	5	5	5	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①対象者数	実績値 人	1,547	1,619	1,642	
②フッ化物塗布者数	実績値 人	738	750	903	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
対象者に対する個別通知、広報や歯科医師会を通じた幼稚園・保育園歯科医からの受診勧奨を実施しているが、受診率はほぼ横ばいで推移している。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 受診率	目標値 %			57.5	57.5
	実績値 %	59	57.5	60.4	
二 むし歯被患率(小学1年生)	目標値 %				
	実績値 %	43.44	45.25	36.32	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
むし歯被患率とは、むし歯がある者(治療済も含む)の割合である。平成19年度53.23%(都51.06%)、20年度52.83%(都48.75%)、21年度45.20(都46.88%)むし歯がある小学1年生が、徐々に減少してきている。出典：東京都の学校保健統計書					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	本事業は、開始当初、東京都事業として4歳まで行っていた歯科健診事業と就学時健診の間を継続的に健康管理していく必要があることより開始している。3歳児歯科健診終了後2年間で18%以上のむし歯の罹患率が増えることから(23年度受診者データ)、保護者への指導が重要な時期に実施する事業となっている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市では、集団健診方式で実施している市はあるが個別方式での実施市はない。23区では4区で同様な事業が行われている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 保育園、幼稚園で通園している園児は、園の歯科健診として実施しているが、保護者への指導までは実施していない。

事業コード 4-3-1	事務事業名 5歳児歯科健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>5歳児歯科健診は、3歳児歯科健診から就学時健診までをつなぐ重要な健診時期であり、生活習慣を見直す保護者への指導も兼ねて実施し、また、地域のかかりつけ歯科医を早期より持つきっかけづくりとなっている。さらに、本事業にフッ化物塗布を入れたことで、フッ化物を用いたむし歯予防を地域に定着させる機会にもなっている。</p> <p>当市は、20年度までむし歯がある（治療済を含む）小学1年生が東京都平均より多かったが、21年度よりわずかながら逆転し減少する傾向にある。</p> <p>今後の課題としては、幼稚園児と比べ保育園児の受診率が低いことである（平成23年度保育園児47.5%、幼稚園児62.0%）。保育園では、歯科健診を年2回実施していることから、事業の必要性を希薄に感じている保護者の認識が予測されるが生活習慣の改善に向けての個別保健指導までは実施していない。これより、今後は保育園児の保護者に向けて受診の必要性を含めた普及啓発に力を入れていきたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>個別方式による本事業の実施は他市に事例のない、高水準のサービスであり、むし歯被患率の減少に一定の成果は認められる一方で、本事業の目的であるかかりつけ医の定着については、成果が明確でなく、分析についても継続的には行われていない。</p> <p>今後、歯科医の協力も得て、かかりつけ医の定着の状況や、口腔の健康状態の傾向等、さらに詳しい成果の検証が必要である。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-3-2	事務事業名 機能訓練事業費	所管部課 市民部 健康課
----------------	------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容…保谷保健福祉総合センター機能訓練室で、理学療法士・看護師が個別訓練・指導を実施。期間は週2回の6ヶ月間とし、2コース実施し参加者の機能回復に努める。対象者…機能訓練低下のある40～64歳未満の者。ただし、医療機関でのリハビリテーション、介護保険によるサービスを受けている者は対象としない。 根拠法律、補助金…健康増進法、健康増進法に関わる都補助金 委託内容…判定会医師健康相談、送迎自動車運転	
	事業開始時期	合併前 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		4,451	4,551	4,881	7,608
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,877	1,941	1,916	1,962
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		2,574	2,610	2,965	5,646
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,424	2,450	2,309	2,470
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	6,875	7,001	7,190	10,078
単位当たりコスト (E)=(D)/(訓練延回数)	千円	39	38	40	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 訓練延回数	実績値 回	176	182	181	
② 訓練者実人数	実績値 人	16	16	23	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成18年度まで50人以上の訓練者が、法改正に伴い平成19年度以降20人前後と半数以下に減少している。医療福祉関係者へ事業の普及啓発を拡充しているが、他法優先のため該当者が少なく、結果として訓練者増加への変化が見られない。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 被訓練者延人員	目標値 人				
	実績値 人	508	543	596	
二 機能回復・改善者率	目標値 %				
	実績値 %	66	100	82	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 機能回復・改善者率については、訓練者が日常生活能力・筋力の改善がみられた者であり、高い数値となっている(訓練前後の評価より)。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	地域リハビリ作業部会委員より度々出る意見として、若年者対象の市内通所施設が不足しているとの声がある。障害者や高齢者施設に通所できる該当者であっても、施設利用にないままに若年者が課題となっている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成24年11月の実施調査では、26市中5市で同事業を継続している。そのうち、老人保健施設等へ委託している市が2市、直営実施が3市となっている。訓練者人数(23年度)としては、昭島市240人、立川市45人、青梅市24人、東大和市4人、国立市0人とバラつきがある。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 類似事業として対象者を絞らない「リハビリ相談」や「ボディケア講座」について、地域リハビリ作業部会委員より継続や拡充の意見がある。

事業コード 4-3-2	事務事業名 機能訓練事業費	所管部課 市民部 健康課
----------------	---------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービス の相手方	2	<p>平成24年度に改正した国の健康日本21（第2次）では、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）が重要視されている。平成25年度には、健康増進事業実施要領も一部改正され、ロコモティブシンドロームの集団健康教育を追加している。国の動きにあわせて、当市も機能訓練事業のあり方を抜本的に見直し、運動器の機能低下がある、または可能性のある市民に対してロコモティブシンドロームの集団健康教育を実施する必要がある。</p> <p>現在、実施している機能訓練事業は、送迎等によりセンターへ週2回通所しているが、今後は参加者が在宅での機能訓練の知識を習得することを目指し、理学療法士等の専門的な集団健康教育をセンターだけに限らず開催することとする。また、集団健康教育だけでなく現在行っている「リハビリ相談事業」を継続することで、個別に訓練者の機能を評価し、次回の目標を設定できる動機付けとつながるため、集団と個別の受け皿が必要である。</p> <p>機能訓練事業の見直し時の課題として、対象年齢を健康増進法の年齢枠である40～64歳に限定するか拡大するかを検討する必要がある。特に、地域リハビリ作業部会委員より、若年者対象の市内通所施設について不足しているとの声があるため慎重に審議していくこととする。</p>
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	1	
B	直接のサービス の相手方	1	<p>職場復帰に向けた機能回復等の需要もあり、事業の必要性は認められるものの、医療保険や介護保険法等の対象者は本事業の対象外としていることから、利用者数の増加の見込めない状況となっている。</p> <p>そのため、事業内容については、一次評価にもあるように、専門的な健康教育や健康相談といった専門知識を有効活用できるような仕組みに抜本的に見直す必要がある。</p> <p>また、若年層への配慮等の課題解決に向けた取組を早急に進める必要がある。</p>
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-3-3	事務事業名 地域リハビリテーションの構築について調査・研究	所管部課 市民部 健康課
----------------	----------------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等		
	リハビリテーションを必要とする市民に対し、急性期から維持期に合わせたリハビリテーションを提供できるように、保健、介護保険、高齢者福祉及び障害(児)者福祉制度におけるリハビリテーションのネットワーク化の構築を行うため、地域におけるネットワーク化について調査及び検討を行う。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領		
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する ①庁内検討委員会年1回、②作業部会年3回、③症例検討会年1回、④リハビリ施設見学会実施、③④については参加者へアンケート実施、その結果について①②で検討する。補助金…なし			
事業開始時期	合併前	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		38	36	38	42
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		38	36	38	42
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,616	1,633	1,540	1,647
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	1,654	1,669	1,578	1,689
単位当たりコスト(E)=(D)/(症例検討会参加者数)	千円	15	13	17	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 症例検討会参加者数	実績値 人	111	127	92	
② リハビリ施設見学会参加者数	実績値 人	未実施	52	37	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 リハビリ施設見学会は、施設の受け入れ人数が23年度52名から24年度37名と減少している。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 次 症例検討会新規参加者	目標値 人				
	実績値 人	不明	不明	28	
二 次 リハビリ施設見学会新規参加者	目標値 人				
	実績値 人	未実施	不明	27	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 24年度は新規参加者の割合は、症例検討会で全参加者の30.4%、施設見学会は73.0%を占めている。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	外部より出席している作業部会委員より、在宅生活を支える家族やケアマネジャー等の関係者に十分な医療情報が伝わっていないため、症例検討会およびリハビリ施設見学会を通して他職種の連携が必要であるとの意見を受けている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 市町村として、同事業を行っている情報は無い。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 同目的として、多摩北部圏域の地域リハビリテーション支援センター事業幹事会が実在しているが、当市の現状を検討する会ではない。

事業コード 4-3-3	事務事業名 地域リハビリテーションの構築について調査・研究	所管部課 市民部 健康課
----------------	----------------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

急性期から維持期までのリハビリテーションについて、切れ目なく継続して市民へ提供するためには、医療機関と地域のリハビリテーションが相互に連携をとっていくことが必要である。そのため、「症例検討会」や「施設見学会」の参加者にアンケートを実施し、庁内検討会や作業部会でどのような連携体制やシステムづくりが必要かをケアマネージャーや理学療法士等の多職種で検討している。
 今後は、医療機関と地域のリハビリテーション事業に携わる関係者が、直接、現場で起きている課題について共有することで、継続したリハビリテーションを考える機会を設けることを目的に、「症例検討会」や「施設見学会」の開催日に合わせて、多職種の意見交流会を実施する予定である。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	1	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	2	

保健や福祉の庁内組織とケアマネージャー、理学療法士等の専門家が連携を図りながら、適切なリハビリテーションを提供していくために、民間事業者を含めた地域におけるネットワークの構築は必要である。
 そのため、検討委員会や作業部会、症例検討会等による調査・研究の成果を明確化し、本来の目的である地域リハビリテーション構築のためのネットワーク化を図るよう具体的な取組を進められたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-3-4	事務事業名 中町分庁舎管理	所管部課 市民部 健康課
----------------	------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的 休日診療所として、日曜日・祝日・年末年始における急患に適切な初期救急医療を提供することにより市民の健康の維持増進を図る。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要 ：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 休日診療所として市民サービスを提供するとともに、一般社団法人西東京市医師会及び同医師会の訪問看護ステーションに行政財産の使用許可を行い、市有財産の有効活用を図っている。 また、清掃、警備、施設監視・各種機器・設備の保守点検等については委託により維持管理を行っている。	
	事業開始時期 平成16 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		10,850	8,128	6,846	9,114
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		6,248	3,145	3,247	5,218
一般財源		4,602	4,983	3,599	3,896
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	808	817	770	823
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	11,658	8,945	7,616	9,937
単位当たりコスト (E)=(D)/(受診者数)	千円	4	3	3	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 診療日数	実績値 日	71	71	72	71
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 日曜日・祝日・年末年始において、休日診療所として開設している日数					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 受診者数	目標値 人				
	実績値 人	2,761	2,771	2,721	
二 部屋の稼働率(使用日数/365日)	目標値 %				
	実績値 %	26	26	26	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ・休日診療所における受診者数 ・部屋の稼働率の合計(1年365日のうち使用されている日数の割合※平日の割合は67%)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	サービスの充実(レントゲンがない。簡易な診察のみである。薬を1日分しかもらえない。など)を求める声がある一方で、休日診療所として固定しているので安心感があるといった利用者の意見もある。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 委託状況、建物規模、清掃の回数(作業員の常駐等)施設の設備機器等が他市とは異なるため比較算出は不可能
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 休日診療所機能としては、代替サービスとして病院・クリニックがある。

事業コード 4-3-4	事務事業名 中町分庁舎管理	所管部課 市民部 健康課
----------------	---------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>中町分庁舎は、平成16年度に東京都の保健所の再編に伴い、保健衛生に資する目的で市が購入した施設であり、現在は休日診療所としての機能を有しており、また、西東京市医師会及び医師会の訪問看護ステーションに行政財産の使用許可を行うなど、分庁舎の有効活用を図っている。</p> <p>しかし、部屋の稼働率は低くなっている現状から、分庁舎としての利用方法について見直しが必要である。</p>
	事業の 必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の 妥当性	2	■ 改善・見直し	
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>中町分庁舎は、平成16年度以降、保健衛生に関する施設として、休日診療所として市民サービスを提供する場として活用し、一定の成果があったところである。</p> <p>しかし、中町分庁舎の使用用途の制限解除に伴い、用途の見直し、施設の有効活用について、本市の重要課題である公共施設の適正配置の取組みを踏まえ、早急に検討する必要がある。</p>
	事業の 必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の 妥当性	2	■ 改善・見直し	
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の 適切さ	1	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの 把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	